

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	現代社会	
科目基礎情報							
科目番号	2026		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報通信システム工学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	毎時間、作成したプリントによって講義を進めていきたい。						
担当教員	島袋 政和						
到達目標							
日本の政治、経済、文化、選挙等を学び、日本や世界の実状に理解を深めることにより、自己を磨きよき社会人としての素養を身につけるよう心がける。また、16年に公職選挙法が改正され18歳に選挙権引き下げられた。このため、社会人としての自覚をしっかりと持つ必要もあるので、正しい選挙兼を行使できるよう心がけさせたい。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限必要な到達レベル (可)	
授業内容は政治 (特に憲法)・経済・文化・選挙等で、社会の動向に関心を払うよう努める。		90%。講義の各分野を極めてよく理解し、的確に意見を発表している。		75%。講義の各分野をよく理解し、よく意見を発表できる。		60%。講義の各分野を理解しある程度の意見を発表できる。	
講義中の態度や意見の発表を重視する。		各分野の重要な課題を見だし、その解決に必要な意見を発表することができること。		各分野の基本的な知識を深めていて、ディスカッションも「意欲的に発表する。		基本的な漢字や用語を理解でき、意欲的な学習意欲が見られる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 本科－1 教育目標 本科－4							
教育方法等							
概要		憲法、経済、文化、選挙制度。					
授業の進め方・方法		特に、公職選挙法の改正による選挙権の引き下げによる社会人としての自覚を持って貰うよう心がけたい。。このため、授業を通して憲法や経済などに日頃から関心を持つよう努めたい。					
注意点		ディスカッションや発表の機会をつくり、母国の諸制度を振り返るよう促したい。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	コース・インフォメーション		内容・レポート発表等		
		2週	日本国憲法①		自由権・社会権・公共の福祉		
		3週	日本国憲法②		国民主権・平和主義		
		4週	日本国憲法③		基本的人権		
		5週	政治制度		三権分立・地方自治		
		6週	選挙制度①		公職選挙法		
		7週	選挙制度②		公職選挙法		
		8週	日本の産業①		戦後日本経済の推移		
	4thQ	9週	日本の産業②		日本経済の構造		
		10週	日本の産業③		日本経済の課題		
		11週	日本の産業④		日本の農業		
		12週	人口		少子化・高齢化		
		13週	社会保障		社会保障の仕組み		
		14週	日本の文化		日本文化の特徴		
		15週	総まとめ		発表		
		16週	期末試験				
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	その他 (演習課題・発表・実技・成果物)	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	20	10	0	0	100
基礎的理解	20	10	10	0	0	0	40
応用力 (実践・専門・融合)	10	5	5	0	0	0	20
社会性 (プレゼン・コミュニケーション・PBL)	0	0	0	10	0	0	10
主体的・継続的学習意欲	20	5	5	0	0	0	30